

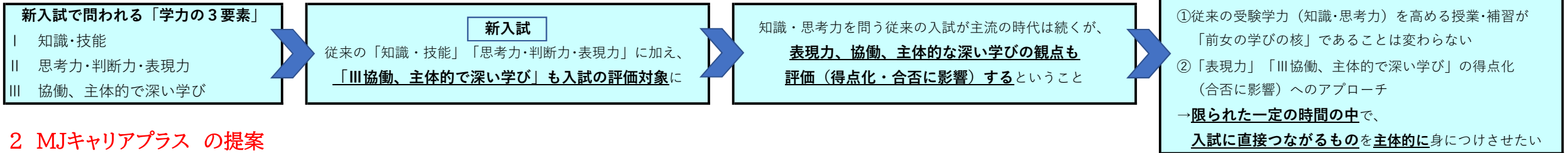


# MJキャリアプラス<Career+>

2021始動

## 1 MJキャリアプラスを立ち上げた目的

新入試時代に入、"新しい学力観" = 「学力の3要素」が大学入試にも反映されてきます。



## 2 MJキャリアプラスの提案

<b>Q1</b> 魅力的ね。でも、私達には時間がないの。どのくらいの時間（割合）をかけるイメージ？	A 1 土曜学習、GTEC校内受験を廃止→浮いた年に10回の土曜学習分くらいの時間を、II IIIの獲得に振り向ける
<b>Q2</b> 取り組む内容が、大学入試に具体的に繋がらないとモチベーションも上がらないわ。	A 2 ◎ <b>選べる7つの「MJキャリアプラス」</b> を用意。自分が身につけたいものにチャレンジしてください。 ◎パッケージの内容は、II IIIの資質・スキル獲得及び <b>新大学入試に具体的にプラスになるプラン</b> ※です。

## MJキャリアプラス<Career+> 7つのパッケージ

Project	A 外部英語資格取得	B ボランティア	C SSH（探究活動）	D インターンシップ	E 外部の主体的活動	F 大学・研究室訪問	G 教養を深める
獲得する資質	表現力	主体性・協働	主体性・協働・深い学び	主体性・協働・職業観	主体性・協働・深い学び	主体性、深い学び	深い学び
具体的な活動	英検、TEAP、GTEC、TOEFL、TOEIC等の資格取得	休日、長期休業を利用したボランティア活動	SSHの探究活動 SS-Lectureやコンテストへの参加	病院、企業でのインターンシップ（職業体験）	明石塾、外交官プログラム、地域連携、留学	研究室訪問や高大連携講座への参加	読書。社会・学問の背景知識や(英語以外の)検定取得 ex.世界遺産、簿記
大学入試での使いどころ※	・英語の得点化、免除 ・受験資格	・願書・志願票に「主体的な活動」として記述 ・面接	・願書・志願票に「主体的な活動」として記述 ・面接・表彰	・願書・志願票に「主体的な活動」として記述 ・面接	・願書・志願票に「主体的な活動」として記述 ・面接	・願書・志願票に「主体的な活動」として記述 ・面接	・願書・志願票に「主体的な活動」として記述 ・面接
こんな目的、こんな意識でCareerを獲得していこう！	資格取得、そして大学入試で得点化、受験機会増となる外部英語資格。一発勝負の「共通テスト」の保険にもなる。毎週受けられる検定もある(英検S-CBT)。「級、スコア」を獲得して、ライバルの「一歩先へ」。	社会とのつながりを意識でき、互助・奉仕の精神を育める。高いハードルに感じるが、まずは一歩踏み出す。自治体に問い合わせると、ボランティアを紹介してくれる。自分にしか語れない経験を！	SS-Lecture、コンテストに積極的に参加しよう。SSHの探究活動において、課題や仮説、条件の設定、実験、協同研究...その過程が学びとなる。うまくいかなかった時こそ「成長する瞬間」だ。	5年、10年後の自分がイメージでき、そこに向け自分をどう磨いていくかのスイッチとなる。ただ参加するだけでなく、参加後どのような考え、見方になったかまでがこの学び！	学校で学んだ知識が実際の社会でどう使うのか、正解が一つでない現実の問題にどうアプローチしていくのかなどを「実践的、主体的」に活動できるプログラムにチャレンジ。	本やHPでの調べやオープンキャンパスからもう一歩踏み込みよう。ゼミが体験できる「研究室訪問」や高大連携講座の受講で、大学の学びやレベルの高い専門的知識を知り、見聞を広めよう。	「この本に出会い、どのように世界が変わって何を得たか」を語れるように。数学検定など色々な検定に挑戦するのもいいね。 志望する職種、学部の背景知識、時事問題を知り、自身がどう関わり、どう考えるのかをまとめるんだ。

## 3 MJキャリアプラスの進め方

①ゴールデンウィークでどのプロジェクトに取り組むかを決め、計画を立ててみる→②実施後「MJキャリアプラス」用紙に記入しファイルに保管。まとめの文面は「そのまま入試の願書や志願票に書く内容」で書く。